

矢部小の「にじ」と矢部中の「くにみ」

2つのPTA新聞が今年も熊日PTA新聞コンクールで入賞をしました。

矢部小「にじ」はPTA広報部7名と教職員3名、サポーター7名の計17名が編集・取材を担当しています。

学校での行事や地域と学校の交流行事などを広報委員が交代で取材、児童の声を交えながら、読みやすい文面で紹介しています。1学期に1号ずつ3回発行しました。全号フルカラーの広報紙で240部発行しています。

矢部中「くにみ」はPTA文化部7人と教職員3人の態勢で発行しています。学期毎に年3回、250部を発行。保護者はもちろん、校区内の小学校や矢部高校へも配布しています。学校内の行事など、普段はあまり知ることができないことや、あった出来事を掲載するだけでなく、その出来事に関わった生徒から感想をもらったりしながら、さらに奥深く学校行事を伝えられています。



矢部小PTA新聞「にじ」の編集に携わったみなさん



矢部中PTA新聞「くにみ」の編集に携わったみなさん

この二つのPTA新聞でいずれも部長を務めている本田勝美さんは、「部員の皆が、我が子の学年以外の記事をどうやって読んでもらうかなどを考え、インパクトの有る記事や内容を考えた。また、自分たちが楽しい記事にしようとの思いを込めた、紙面構成を心掛けた。小学校・中学校で、携わった新聞全てが優秀賞をいただく事ができたのも、部員の皆と楽しく活動してきた結果です。」と話してくれました。

地域づくり夢チャレンジ大賞受賞

～地域づくり夢チャレンジ推進事業熊本県知事表彰～



蒲島知事に里山弁当の説明された大和幸子さん(左)と渡辺房子さん(中央)

地域の資源や特性を生かしながら、自主的な地域づくりに取り組む地域団体を後押しするため、熊本県の補助事業として平成23年度から「地域づくり夢チャレンジ推進事業」が実施されております。他の地域団体のモデルとなる優れた取り組みを行っている地域団体の中から、県内5団体に対して県知事より「地域づくり夢チャレンジ大賞」が送られました。

山都町からは、旧白糸第二小学校の調理施設で四季折々の里山弁当をつくり、菅の集落全てを野外レストランに見立てて食事ができる「里山レストラン事業」を実施している「菅地区山村交流ビジネス協議会」(代表:菅純一郎さん)が受賞しました。表彰式で蒲島知事が「今後も地域が元気になるようがんばってほしい」と話されました。

自然の中で豊かに育つ子どもたち その52

矢部郷自然観察会 代表 藤吉 勇治

2月13日から降り出した雪は大雪になり、翌日山都町内の小中学校は休校となった。私の勤務する蘇陽南小学校でも、積雪が37cmを記録した。翌日の土曜日は天気が回復し、晴れ間が出て雪が溶けはじめた。そこで、五老ヶ滝周辺の自然観察路(遊歩道)へ散歩に出かけた。雪が降ったときは雪の上に野生動物たちの痕跡が残り、観察にいい条件となる。布田神社前から滝の方へ遊歩道を下り、仙者ヶ淵を通り、河鹿橋を渡つた。一週間に一度、間前には橋のすぐ下流にオシドリが群れていた。このとき、姿が見えなかった。さらに先へ進み、緑地広場の手前まで来たときだった。「チッ、チッ」と声を出して数羽の野鳥が藪から飛び立ち、木の枝先に止まった。モヒカン刈りのような頭の冠羽が目立ち、顔には黒と黄色の鮮やかな模様があり、歌舞伎役者の隈取りのようだ。この鳥はミヤマホオジロのオスだ。毎年、冬鳥として日本に渡ってくる。



緑地広場の手前から、五老ヶ滝川に沿って林の中に延びている遊歩道に入った。しばらく遊歩道を進むと「ケケツ、ケケツ」とオシドリ

の音が聞こえてきた。ここからは足を立てないように忍び足で進んだ。足元にはオシドリの好物のドングリがたくさん落ちており、これを踏むと音がしてオシドリが逃げってしまう。ようやく林の木々の間から川面が見える所に来た。ここでオシドリが出てくるのを待つことにした。間もなくオシドリが姿を現した。まのメス、その羽の続き、さらにはオシロイの羽が、かきまわって泳いでいた。目を動かして観察すると、私の頭上にも鳥がやってきました。目を覚めると、美しいソウシチヨウだ。ソウシチヨウは、かつて飼われていた本に輸入されたが、現在野生化して他の野鳥の生息地に入り込んでしまった。(次号に続く)



で来た。20羽以上の群れだ。体を動かさないようにして双眼鏡で観察をしていると、私の頭上に鳥がやってきました。目を覚めると、美しいソウシチヨウだ。ソウシチヨウは、かつて飼われていた本に輸入されたが、現在野生化して他の野鳥の生息地に入り込んでしまった。(次号に続く)



で来た。20羽以上の群れだ。体を動かさないようにして双眼鏡で観察をしていると、私の頭上に鳥がやってきました。目を覚めると、美しいソウシチヨウだ。ソウシチヨウは、かつて飼われていた本に輸入されたが、現在野生化して他の野鳥の生息地に入り込んでしまった。(次号に続く)



山都警察署・署協議会だより

山都警察署 TEL72-0110

熊本県警のホームページ <http://www.police.pref.kumamoto.jp/>
管内の犯罪・交通事故の発生状況、県警からのお知らせ等が掲載中です。

「県内で一番安全・安心な山都町」を目指して

市町村別の犯罪発生率ランキングでは、常に“最下位レベル”の山都町。犯罪・交通事故の発生件数の少なさは、町の自慢のひとつです。

<平成25年中犯罪発生率ランキング>

順位	市町村名	人口(人)	犯罪発生率
39位	南小国町	4,236	2.361
40位	山都町	15,964	2.255
41位	球磨村	3,962	2.019
42位	五木村	1,121	1.784
43位	玉東町	5,450	1.284
44位	産山村	1,583	1.263
45位	水上村	2,333	0.857

左表のとおり、山都町の犯罪発生率は県内45市町村中「40位」でした。(昨年は43位)
人口が1万人以上の30市町村の中では、一昨年、昨年に続き、“最下位”でした。
皆さんと一緒に熊本県で一番安全・安心な町を築きましょう。

※犯罪発生率 = 人口千人当たりの刑法犯の認知件数
※人口は県統計調査課が算出した推計値(平成25年4月1日現在)

事件・事故	平成26年3月末
刑法犯	17件(12件)
人身交通事故	6件(6件)

※○内は昨年同時期の発生状況

<ゆっぴー安心メール>
子どもたちの安全確保や地域の犯罪防止を図るため、県内で発生した不審者の出没や子ども・女性に対する犯罪の前兆事案の発生情報などを、会員登録された方の携帯電話に配信します。

<シルバー見守りネット>
保護が必要な高齢者等(障がい者や小学生以下の児童を含む)の行方不明手配や交通安全・振り込め詐欺等の犯罪被害防止情報を、携帯電話へメール配信します。

※QRコードを読み取れない方は
<ドメイン>ansin.police.pref.kumamoto.jp を指定後、
【ゆっぴー安心メール】 k110@ansin.police.pref.kumamoto.jp
【シルバー見守りネット】 net110@ansin.police.pref.kumamoto.jp に空メール送信をお願いします。